



美馬産科婦人科病院では回帰水が自由に飲める

医師も使う！

しぜんかいきすい

「自然回帰水」の健康復元力

◎作家 旭丘光志

アトピー、コレステロール排水、生活習慣病の撃退にすごい威力

●水の力に引きつけられる選手たち

今年も読売ジャイアンツ宮崎キャンプのベンチには、連日、ある種の水のボトルが運び込まれた。激しい練習で汗を絞り出した選手たちは、合間をみてはその水をむさばるように飲む。よくそんなに飲めるなど不思議に思えるほど大量に飲む。水道水やふつうのミネラルウォーターでは、とてもそんなに飲めないだろう。同じホテルは宿舎にも置かれていて選手や長崎放送監督やコーチたちはほと

んどがそれを愛飲している。

その光景は何もキャンプだけに限られたことではなく、平成五年からジャイアンツの試合中ベンチで日常的に見られてきたものだ。本拠地東京ドームだけではなく、広島、甲子園など地方遠征のベンチにもその水は送り込まれ、選手たちの喉の渇きを癒やし、体液面から体内環境保全を密かに支えつづけてきたのである。『H₂O自然回帰水』——ボトルの肩にはそう書かれた鮮やかなブルーのラベルが貼られている。H₂OのOは地球の絵にな

っている。

通称「回帰水」と呼ばれる自然回帰水は、本来自然界で最も自然の状態であったときの生命力賦活エネルギーに満ちた水を人間の脳で再現しようという意図のもとに創られた水だったのである。

自然本来の水を人工的に創ろうというのは論理の矛盾、といえなくもない。

しかし、現実にはわたしたちが日常的に口に入れる飲料水はすでに壊れていて、自然の水からは遠かに遠いものになってしまっているのである。発ガン物質

トリハロメタン、発ガン物質トリクロロエチレン、塩素、鉛、界面活性剤LAS、そしてダイオキシンなどによる水の汚染は、いまや周知のこと、だからこそ水が豊かだといわれてきたこの日本で、いまや多くの人々がガソリンよりも高いミネラルウォーターを買って飲むようになってしまったのだ。だが、自然回帰水は単なる清潔な水ではないし、ミネラルウォーターでもない。

地球という生命を育む場（ガイア）地球そのものがひとつの生命体とする考え方は、地上のすべての生命を育む基本エネルギーを水に乗せて生きとし生けるものすべてに与えてくれている。ところが、現在地球環境を循環する水は、その生命を生き生きとさせるエネルギーが急速に衰えつつある。自然回帰水はその生命賦活エネルギーを復活させた水だ。

選手たちが喜んでこの水を飲むのは、生命賦活エネルギーの高い水の威力を体で実感しているからであった。「回帰水を飲んだ後は体がよく動くんですよ。たくさん飲んでお腹でチャボチ

ャボすることもなくてね。どこかへスーッと通やかに吸収されていくんです。だいたいこの水は寒においしい。家じゃ風呂もこの水にしているけれど湯の肌ざわりがとてもソフトなんだ」

昨年ジャイアンツを退団した宮本和知元投手はこう語っている。宮本さんはこの水に惚れこんで、自宅を新築するとき回帰水の生水器を据えつけ、台所から風呂、トイレまで家中すべて回帰水にしました。料理もすべて回帰水使用だという。ジャイアンツではほかにも吉村慎章選手や中畑清元コーチも自宅に回帰水生水器を付けた。

肉体を極限まで酷使するスポーツ選手たちは、この水に秘められた体の復元力をよく知っている。サッカーのヴェルデイ川崎はクラブハウスに回帰水生水器を設置しており、選手たちはボトルに汲んで飲んでいる。最も愛用しているのはラモス選手だが、高木球也選手は五年前生水器を自宅に付けた。

自然回帰水を受飲するのはスポーツマンだけではない。知る人ぞ知るで十五年

も前から日本各地で多数の人々に日常生活のなかで愛用されつづけてきた。ボトル詰めのお水を飲む人は数えきれないが、その生水器はすでに二十五万台以上が家庭やホテルや病院、農業施設に設置され、その現場を訪れてみるとこの水が驚くべき働きをしていることを目のあたりにさせられるのである。

医療現場で回帰水を使う医師もある。たしかにこの水には独特の健康復元力があり、それも病気の種類によってはかなり強力に働くという。

●アトピーが劇的に改善した！

薬ではない。たかが水である。

その自然回帰水に、ある種の病いを癒やしたり、病状を改善させたりする力があることは、この水を飲んでいくうちにいつの間にかそういう現象が体に起こった人たちの口コミにより自然に知られるようになった。

鹿児島市・米満幸一さんの長女あかりちゃん（現・四歳）は、生まれたときから顔が少し赤くなっていた三カ月検診の

際、アトピー性皮膚炎かもしれないといわれた。それは次第に顔全体へと広がっていき、八カ月目には皮膚から体液が滲みだしてきた。やがてゼンソクもはじまり、一歳三カ月のときから短期間に大学病院などへの入院を繰り返したが悪化するばかりだった。

「掻きすぎて顔中血だらけになってね、片目も開かない状態でにっちもさっちもいなくなつたとき、たまたま会社の同僚から回帰水のことを聞いたんです。平成七年六月十一日——その日から半信半疑でその水を飲ませはじめたんです」

左ページの写真・左がその日の米満あかりちゃんだ。父親はそれを見せながら、その水をくれた信時忠明さん（54歳）が撮ってくれたものだ。娘のアトピーに途方に暮れていた当時へ思いを馳せる。

信時さんは平成三年、脳血管で意識不明に陥り、その夜が峠といわれながらも血流促進の点滴で二十日間生死の境をさまよいつながら生還した。しかし、半身不随など全身がガタガタになり開頭手術を

医師に勧められたが奥さんが泣いて拒否。たまたま見ていたNHKの朝の番組で自然回帰水を知り、生水器を取り寄せて飲みはじめたところ、一カ月目には倒れる前の体に戻った、という体験を持つ。奥さんの重度のゼンソクもこの水で治したことからますます回帰水への信頼を深めた信時さんは、仕事の傍ら人の顔を見ると回帰水の健康復元力の凄さを説くようになった。回帰水を飲んでみたいという人があれば、試してみなさいとポトルの水をプレゼントしてしまうのである。

米満あかりちゃんもそういうなかのひとりだった。あかりちゃんは一日一・五杯の回帰水を飲みつづけた。風呂にもその水をバケツ一杯半混ぜて入り、皮膚にもスプレーで吹きつけたという。さて、その結果だが、右の写真は回帰水を飲みはじめた四十日目のものである。そして、あかりちゃんの顔は飲用八十日目ですべて完全にきれいになった。

昨年九月、わたしは鹿児島のおかりちゃん宅を訪れ、ご一家の皆さんと会った

く見聞した。少なくとも、多様なアトピー治療を遍歴してきた治らないという人には、試してみる価値は充分にあると思う。この水はアトピーの専門誌でも紹介されているくらいなのだ。

アトピー以外にも、弘前市の坂本光博さんの妻（38歳）はこの水の飲用で遊走腎の痛みと腰痛の緩和、心筋炎での息苦しさの解消があったし、福岡市の水浜和行さん（38歳）は三年前からの糖尿病で二〇〇以上あった血糖値が、回帰水の飲用一カ月目で一気に一〇〇まで下がったと喜ぶ。鹿児島県の信行さん（37歳）も



H17年6月11日
〈飲用開始〉

H17年7月22日
〈41日目〉

十年前からの痛風を回帰水で完璧にコントロールしている。尿酸値がよく下がるとの。ほかにも冷え性、便秘、高血圧、ガン手術後の体調改善、数えあげればきりがないほどで、要するに体質とかかわりの深い慢性疾患のほとんどに何らかの改善作用をみせているのである。

たかが水——だが、わたしたちの体は幼児で七〇％、成人では六〇％前後が水分でできている。極端な言い方をすれば、わたしたちの体は水の入った皮袋のようである。その水の中心に背骨が通っているのだ。

「体の機能を支える最も基本的な生命活動の場として、水はわたしたちが日頃何気なく考えているより遙かに重要なものなのです。体内で起こるあらゆる生体反応は、体液つまり水分を介して行なわれるのです。その水が劣化していたり汚染されていたりしたのでは、どれほど素晴らしい食品を摂り、素晴らしい治療法を講じても本当の意味での健康を取り戻すことは難しいでしょう」

早くから、医療の立場から水の質の重

が、あかりちゃんにはアトピーの跡形もなかった。台所の一角には当時取りつけた回帰水の生水器が鎮座していて、いままも食事の仕度やお茶など口に入る水はすべてこの水です、とお母さんが照れながら蛇口をひねってその水を一杯ごちそうしてくれた。

「薬じゃないからこの水で改善したのか、といわれると何ともいえませんが、でもアレルギー体質が改善したことは間違いない。前はアトピーだけでなくゼンソクもひどかったんですが、もう走り回ってもまったくゼーゼーしなくなつて風邪もひかなくなりまして——。信時さんには本当に感謝していますよ」

取材していくと回帰水でアトピー性皮膚炎が劇的に改善したという人は、日本各地に実に多い。小児のアトピーは一過性のことも多く、成長とともにいつの間にか消失していくことも珍しくない。

しかし、すでに成人していて、十年も十五年も苦しんだというアトピーが数多く改善、消失し、あるいはこの水でコントロールに成功しているという事実も多

要さる指摘し、治療体系に水を組み入れてきた大分市・大森内科・アレルギークリニックの大森隆史医師は熱を込めて語る。

水こそあらゆる食品中最も直接生命の存続にかかわる食品だといふ。体の水分が五％から一〇％欠乏すると体の機能に多様な症状が出、一五％欠乏では入院治療が必要になる。もしそのままにしておくともなくショック状態に陥われ命にかかわるのである。

●回帰水のエネルギーとは何か？

アルカリイオン水、強酸性水、磁気水、波動水などいわゆる浄水器、生水器と呼ばれるものは多種多様で、強力な殺菌力を持つ強酸性水が病院内の消毒に使われるなどというようにそれぞれの特徴を活かし、水はいまわたしたちが予想しているより遙かに幅広く多くの分野で独自の役割を果たしている。

それらの水のなかにおいて、自然回帰水は一線を画す水といっている。生水器や浄水器によって割られる大部

分の水はその特殊な働きや、あるいはアメリカの浄水器のようにあらゆる成分を除去してできるだけ純度の高い水にしようという（ミネラルなどまで夾われる）ものなどいさか不自然な傾向がみられ、日常の飲料水として料理に使ったりするには抵抗感があるのだ。

だが、自然回帰水はその発想が名前のとおり、自然界に本来的に存在した生命力賦活エネルギーに満ちた安全で美味しい水を再現しよう、というところにある。

十五年前に第一号機が完成し、その後、も使用者のニーズに合わせて改良され、家庭用のほかに農業用、業務用など目的別に多くのタイプが開発されてきたが、基本的な原理は一貫していて不動である。

一般的なタイプは、後述する函館市・美馬産科婦人科病院の飯田邦人理事長の写真に見えるもので、内部は六層の浄化、生水構造になっている。生水器に入った水道水は、各層の構成物質によってそこを通過しながら次第に浄化されエネ

ルギーを与えられてその蛇口から出て来るときには、生きた水＝自然回帰した水、に変わっているのである。各層の構成物質とそれが水に何をもたらすのかを明らかにしておこう。

第一層・ブライマリーフィルター——ハイトク濾過装置である。まず大きな悪性物質をキャッチし除去する。

第二層・天然ヤシガラ活性炭——一般的な活性炭の二倍の表面積を持ち脱臭、脱味、脱色を二倍の能力で急速におこなう。

第三層・ニューセラミックス——前の二層が浄化でこの三層と四層の特殊開発のニューセラミックスが、水にエネルギーを与える心臓部である。ニューセラミックスは粘土に二酸化チタンなど多様な物質を混ぜて焼いた一種の焼きものだ。水はこのニューセラミックスを通過すると電子を放出させ、その電子エネルギーを受け変化していくのである。そのセラミックスに混ぜる物質により放出される電子の質も変化するわけで、このニューセラミックスの素成こそが劣化した水を

蘇生させるノウハウのポイントなのだ。三層目では主として有害な遊離塩素を抑制、分解する。

第四層・バイオセラミックス——水素イオンを中性化し純中性の水に磨きあげるとともに、水の分子集団（クラスター）を細かく分断して水の活性を高めてやる。

本来の自然の水は、五、六個の分子の集まりとして存在している。しかもそれぞれ分子はいつまでもひとつの集団に固定しているものではなく、隣りの分子集団などともまぐるしく往き来し動いている。電子的に動くのだ。

水の分子が活発に動き回るこの水の状態を、エネルギーレベルが高い、ということである。水の分子が活発に動くということは、この水が体内に入ったとき体内の水分子集団との間を新しい水分子が活発に往き来するということもある。つまり、飲んだ水が速やかに吸収され生体活動で劣化した水と入れ替わることができるといふことだ。六〇％が水分であるわたしたちの体は、細胞から組織、臓器

までが高エネルギーの水の働きで新陳代謝がスムーズに行なわれ新しい活力を与えられるのである。

いまわたしたちが水道水として飲んでいる水は、環境汚染により浄水場では除去しきれない化学物質（その数百種類ともいわれる）などが微量とはいえ溶けこんでいて、そのために水分子の動きが停滞するようになり、水の分子集団が大きなものになってしまっている。大きな分子集団は動きが鈍くなり、動物にとっでは吸収が悪くまた細胞の新陳代謝の低下も招く、この水の活動を失った水、エネルギーレベルの低い水と呼ぶのである。死んだ水という学者もある。

バイオセラミックスは驚くべき高能力で水の分子集団を細分化し死んだ水を生

き返らせるのである。検査機関によっても、水道水のクラスターの大きさが136Hzであるのに対し、回帰水は60Hzであることが明らかにされているのだ。

第五層・天然回帰コーラルサンド——自然界パランスレベルのミネラル類を水に溶出させ、体に理想的な成分を含んだ弱アルカリ性の水にする。大腸菌、一般雑菌、黄色ブドウ球菌、枯草菌などへの抗菌作用もこの層で行なわれる。

第六層・天然活性燐酸カルシウム——カルシウムを溶出させ、生命を育む自然状態の水にする。長期保存にも強い安全な水になる。

地上に降った雨は枯れ葉や土中の有機物、微生物により浄化され、微量元素やカルシウムなどを付加されながら地中深



大森隆史医師



新田紀夫医師

くの岩盤を通りながら磨かれる。多様な岩盤は、自然のセラミックスそのものである。水はそこでエネルギーを与えられやがて湧き水として地上に出てくる。自然回帰水はこの大自然の原理に倣して創られるのである。「こうして創られた自然回帰水にはとても面白い性質があることが次第にわかってきたんですよ。この水は流れていきながら接触するものにことごとく生命力賦活エネルギーを与え、環境を勝手に浄化していくんです」この生水器を開発したタイセイ博士の研究室である河口宏太郎農学博士は不思議そうに語る。岩手県・釜石市の海岸段丘上に建つかまいしマリナーホテル。では平成六年からトイレの水まで全館すべての水を回帰水にした。当然このホテルからの一日四十リットルのぼる排水も回帰水ということになる。それは排水管を通過して崖下の海に流れ出るようになってる。「その一年後からだったな。地元

さんが大きなアワビを四十個も持ってきてくれるようになったのです。お宅のホテルの排水口近くの海で獲れたからってね。排水のおかげでその周辺のアワビは昔みんな大きく育っているというの。そして、そのあたりの海はとも海草の育ちもいいし、環境がきれいだと……。お宅のアワビだからお札になって、以後毎年届けてくれるの。驚いちゃったね」

昔から水には凝り性でいろいろな浄水器を試してきたとかまいしマリノホテルの大橋社長は、こんな水ははじめてだ、このころはこんな所でも海が汚染されてきているから、地域みんながこの水を使えば海も浄化されるんじゃないのかな、と海へ目を注いだ。

●医師も回帰水に注目しはじめた

水はもともと他の物質を溶かしこみやすい性質があるため、薬を飲むときや注射液、点滴のベースに使われてきたのだが、活性の高い回帰水は細胞や組織への浸透力や溶解力、そして老廃物の排出力が格段に優れていることから数年前から

医師が積極的に使いはじめています。結石を溶かす力や血中の中性脂肪や悪玉コレステロール、過酸化脂質を体外に排出する力もあるのだ。

「水の健康復元力なんて気のせいじゃないのかという人もありますが、患者さんに飲んでもらうとはつきり反応が出ますし、治療効果もみられますので間違いありませんね。わたしの経験では、機能的な食品を飲んで効果が出る人はその前に必ず好転反応という一時的な増悪現象がみられるんですが、回帰水でもそれが起こるんです。肩こりとか重ったるさとか頭痛、軽いむくみとか、人によって出方は異なりますが——それがだいたい二、三日で消えていくと今度は急速に病状の改善がはじまるのです」

前出、大分市の大森隆史医師は、自らもこの水でゼンソクを改善した体験から回帰水を本気で自らの医療体系に組みこみ、患者に飲んでもらっている。

「回帰水は活性が高いからスムーズに細胞壁を通して細胞内に入っていきます。ところが、細胞内のそれまでの老廃した

回帰水はその医療を実現するためになくてはならない武器となったのである。仙台市・南仙台病院の新田紀夫医師は点滴や注射液に使う水（輸液）の酸性度という点から医療のなかの水にこだわってきた。昭和四十八年ころから、病院にはいろいろな浄水器を入れて使ってきた。そして、昨年そこに回帰水生水器が加わった。いまでは自宅にも同じものを三にすつ飲んでいいる。

「治療というよりとにかくおいしいので、ご飯炊くのもみそ汁もお茶もコーヒ



新田邦人理事長、右側に見えるのが自然回帰水生水器

ーも全部回帰水になっちゃってね。うちの奥さんも娘も疲れにくくなってきた喜んでいますね。わたしの糖尿は長いからまだはつきりした結果が

出てはいないけど、うちの十五歳になる老猫には劇的に効いて生き返っちゃいました。腎不全でね、もう助からないって獣医にサジ投げられて諦めかけたんだけど試しに回帰水を飲ませてみたらどんどん元気がでてきて、いま若い猫のような動きをしていますよ。糖尿のほうも飲んでいいるうちになんとかならないか、と期待しているんですが」

函館市・美馬産科婦人科病院は函館で最も人気の高い病院である。出産する女性の入院生活の快適さを大切に、人に優しい病院なのだ。美馬宏夫医師も看護婦さんも手厚いケアにつとめてくれるが、ユニークなのは和食、イタリア料理、フランス料理と一流の料理人が三人もいることである。料理長の飯田邦人氏は三十年間もフランス料理を作ってきた人でホテルから引き抜かれた。美馬院長の考え方で、この病院の料理にはすべて回帰水が使われる。赤ちゃんのミルクを溶かす水もむろん回帰水だ。

「生命の基本である、食」を大事にする院長に共鳴してこの病院に米たんです

水分は活性が衰えていますから速やかに細胞外へ排出されない。そのため、一時的に細胞内の水分が過剰になり、ムクミや重ったるさなどとして、その人の弱點に何らかの反応をもたすのではないかと考えられる。二、三日して細胞内の古い水がすべて排出され細胞内や体内環境の水分がすべて活性の高い回帰水に置き替わるとバランスがとれて、好転反応は消失し、癒やしへの転回がはじまるのです。そうなるまで機能的食品でも浸透、吸収が速いですから、治療効果もめきめき上がっていく——どんな治療法をとるにしても、この水で体内環境を整えてやるととてもやりやすくなるんです」

大森医師はアトピーやアレルギー、ガンを特によく癒やすことで知られているが、体を臓器の寄せ集めとみるような現代医学の方向性に異を唱えてきた。体は、多彩で複雑な生体反応を繰り返す「生命場」であるとし、その生命場（体内環境）を正常化することなしには真の健康は得られないという考え方で自らの医療を進めてきた。大森医師にとって、

が、いいですね、この水。鍋を洗う以外はすべて回帰水を使っています、味もひき立ちます。わたしは自宅にもこの生水器をつけていますから、いま口に入る水は全部回帰水になりました。

別に回帰水でなくてもいいですから、お母さんたちにも水をおろそかにしないで、いい水を使っていたらいいと申しあげたいですね。これから長い人生のはじまる赤ちゃんのためにもね」

飯田料理長は一流レストランのような洒落た病院食堂の一角の観のトレイに置かれた水ポットに目をやりながら語った。そこには一枚のメッセージカードが添えられていた。

「院長おすすめ回帰水。特殊セラミックを通して最も自然に近い水です。当院ではこの水を調乳用としても使用しています」

その側のテーブルにはフルコース用の皿やナイフがセッティングされていた。この病院では退院前夜、赤ちゃんの両親をフランス料理のフルコースでお祝いするのである。